

せっけん生活はじめよう!

家庭から排出される有害物質の6割以上が合成洗剤の成分!

家庭から排出される有害化学物質の排出推定量を調べた環境省のデータ

- 1位 AE(ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル)
- 2位 防虫剤成分のジクロロベンゼン
- 3位 LAS(直鎖アルキベンゼンスルホン酸及び塩)
- 4位 AES(ポリ(オキシエチレン) = ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム)
- 5位 アミノエタノール
- 6位 ドデシル硫酸ナトリウム

1位、3位、4位、6位は合成洗剤成分。
家庭から排出される
有害化学物質の6割以上!!



健康や生態系に有害な恐れのある化学物質に指定されている成分を含む合成洗剤を使い続けて大丈夫なの?
合成洗剤で洗った洗濯もの、赤ちゃんがなめても大丈夫なの?



香りに困っている人たちがいます…
人工的な香りや化学物質により頭痛、吐き気、喉の痛み、鼻水、目の痛み、脱力感、咳などの症状を引き起こす健康被害を「香害」と言います。誰にでも発症の可能性があります。脳や神経が未発達な子どもへの影響、免疫力や学力の低下につながる可能性も懸念されています。合成洗剤や柔軟剤などの、あなたのその香りは大丈夫ですか?

せっけんと合成洗剤の違い



| | せっけん | 合成洗剤 |
|-----------------|----------------------------|--|
| 原料 | ヤシ油、パーム油、牛脂など天然の動植物製の油脂 | 石油、天然油脂 |
| 界面活性剤の成分 | 純石けん(脂肪酸ナトリウム、脂肪酸カリウム) | 合成界面活性剤(AE、LAS、AES、ドデシル硫酸ナトリウムなど) |
| 作り方 | 苛性ソーダや苛性カリを反応させて界面活性剤をつくる | 硫酸化や中和といった複雑な化学合成をへて、自然界にない合成界面活性剤をつくる |
| メリット | 生分解性が高く肌や環境にやさしい、洗浄力がある | 少量でも洗浄力が維持できる、低い水温でも洗浄力を発揮 |
| デメリット | 使用する際手間がかかる場合がある、石けんカスができる | せっけんに比べて生分解性が低い、魚毒性が高い |



「せっけん」を見分けるポイントは?



固型せっけんなら「脂肪酸ナトリウム」、
液体せっけんなら
「脂肪酸カリウム」が原料なのよ!

せっけん生活はじめよう!

生活クラブのせっけん運動

生活クラブは合成洗剤による河川や海などの汚染を食い止めるために、せっけん運動を長年続けています。子どもたちが安心して生活できる未来は、私たちひとりひとりの毎日の暮らし方にかかっています。せっけんを使う暮らしは家族の健康を守り、環境を守る入り口です。

1968年～合成洗剤の共同購入開始

当初、生活クラブは日本生協連合会が開発したソフト型(LAS型)の洗剤と高級アルコール系の野菜果物洗い用の洗剤を共同購入。このころ主婦の手荒れや河川の泡など、合成洗剤による人体に与える影響や環境汚染が社会問題化する。

1973年～粉せっけんの共同購入開始

生活クラブの中でも問題意識をもった組合員が自主的な調査や学習会などを行い、せっけんの取り組みの要望を出し、粉せっけんの共同購入が開始された。合成洗剤とせっけんの両方を取り組み。

1977年～合成洗剤の取り組み中止

『合成洗剤を使うことは、環境汚染の被害者でもあると同時に、加害者になること、私たちは加害者にはならないことを決意』し合成洗剤の取り組みを中止。現在に至るまでせっけん類のみの共同購入。

せっけん運動ネットワークに参加しています

せっけん運動ネットワークは、「安全性や環境影響に不安のある合成洗剤の使用をやめて、せっけんを使いましょう」をコンセプトに、統一ポスター等を用いて、せっけんの使用を広く地域へ呼びかけます。さらに毎年7月のシャボン玉月間には行政への訪問活動を実施し、各自治体でのせっけん利用をはたらきかけ、全国の首長メッセージを集め機関紙で特集号を作成しています。

河川の水質調査も行っています

★身近な水環境の全国一斉調査2021に参加。
COD*を3回測定し、9段階の値のうちどの値だったかを報告します。
(0・1～・7・8以上、高いほど酸素量が多いことを表します)

大田区多摩川(多摩川大橋付近)2021年6月実施
1回目:8 2回目:8 3回目:7

*水質検査項目 COD

水中の有機汚濁物質による汚染度を示す数値で、酸化剤で酸化するときに消費される酸素量で表します。CODの高い川や湖に含まれる有機物の多くは、生活雑排水に由来していることが分かっています。



出典:23区南生活クラブ生協発行 機関紙「みなみ風」

団体紹介

23区生活クラブ生協・まち大田の紹介

まち大田は大田区に在住、在勤し、「生活クラブ」に加入している組合員で構成されています。生活することは、消費することです。「なにを」「どのように」消費するか、という選択は、そのまま、「どんな未来にしたいのか」「次の世代へ何を手渡したいか」へとつながっていきます。私たちは、自然と共生し、食べ物(Food)、エネルギー(Energy)、福祉(Cure)をできる限り自給・循環させる「サステイナブル(持続可能)な生き方」を選びます。いまを生きるいのちと次世代のいのちを、おなじように大切に考えて、すべての活動を行っています。

団体名:23区生活クラブ生協・まち大田

URL : <https://tokyo.seikatsuclub.coop/23ku-minami/>

